慶應志木会会報

慶應志木会（慶應義塾志木高等学校同窓会）

2012 • vol. 32

新会長ごあいさつ

慶應志木会 会長　**松下 賢次**

慶應志木会会員の皆様、21 期の松下賢次です。この度、伝統ある志木会の会長を拝命致しました。今や 1 万人を超える会員を有する志木会の会長ですから、身の引き締まる思いです。私が志木高現役の当時は、まだ野火止用水に水が満々と流れ、その周りにうっそうと茂る林がありました。そののんびりとした環境のなかで、人生で一番充実した時を堪能しました。子供から大人に変化してゆく大事な 3 年間は、正にチャレンジの連続でした。皆さん、「成功」の反対は「何」だとお考えでしょうか。勿論「失敗」が当たり前の答えです。然し、本当の答えは「何もやらないこと」だそうです。つまり、チャレンジして仮に失敗しても、経験が残ります。何もしないで、ただ手を拱いているのでは何も残らないのです。私達志木高 OB は、在学時にスポーツ、恋、遊び、それに少しの勉学と沢山のチャレンジをさせてもらいました。その経験は今でも大事な私産として体と心に焼き付いています。志木会会員の皆様とともに、今後もチャレンジを続けてまいりたいと思います。

志木会大会実行委員長ごあいさつ

大会実行委員長　**逢沢 一郎**

来年秋に開催される「志木会大会」の実行委員長に就任させていただきました。23 期の逢沢一郎です。どうぞよろしくお願い致します。

日頃親しく致しております同期の中村弘司君から連絡があり、大会の実行委員長の話をいただきました。志木高に対する愛情、思い入れは人一倍としても、仕事上きちんと務まるかどうかと躊躇致しましたが、卒塾生も増加するなか、私達の世代が責任を果たさなければならないと考え、思い切って実行委員長をお引き受けいたしました。

志木高を卒業して既に 40 年。しかし青春時代の思い出は今なお鮮明です。高翔祭、有隣寮の 3 年間の寮生活は本当に楽しかった。サッカー部でしたので毎日あの広いグランドでボールを蹴っていました。今日の私の人間としての基礎は、あの志木時代の 3 年間であると心より感謝の気持ちを持っております。

時代は大きく変遷し、今日の日本は内外共に課題山積です。この危機的時代状況を一人一人の日本人の持つ底力で打破していかなくてはなりません。その原点は福澤先生の「一身独立して一国独立する」ではないでしょうか。慶應義塾志木高等学校にも大きな期待が寄せられています。

それでは来秋の志木会大会を成功させ、エンジン全開で頑張りましょう。ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

慶應志木会の皆様へ

慶應義塾志木高等学校 校長　下村　裕

慶應志木会報第32号のご刊行、おめでとうございます。慶應志木会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。そして、日頃のご支援に対し皆様に心より御礼申し上げます。

東日本大震災から1年を経過した今春、慶應義塾志木高等学校では、第62期生259名が学窓を巣立ちました。3月24日に挙行いたしました卒業式では、志木会の鹿野会長はじめ役員の方々、そして卒業後40年を迎えられた第22期生の大先輩にご列席賜り、皆様に厚く御礼申し上げます。

遅咲きの桜が満開の4月6日には、入学式を執り行い、293名の新1年生が入学いたしました。その結果、例年と比べると1年生の在籍者数が少し多くなったため、第1学年クラスを1つ増設して新学期を迎えることとなりました。

そして、新学期早々、宮城県漁業協同組合志津川支所様が「新ワカメ」を学校に贈って下さいました。以前、この紙面でもお伝えいたしましたように、昨年度の生徒会役員が、東日本大震災で被災された漁協にお見舞金をお贈りするため、募金活動をしたことへのご返礼と理解しております。「志津川湾にて漁業再開」の朗報と共に届いた地元の名産を早速に学校の食堂で調理してもらい、生徒・教職員ともどもおいしくいただきました。

また、本年度いよいよ本校独自の国際交流が始まります。相手校は、オーストラリア、クイーンズランド州の私立男子小中高一貫校、Toowoomba Grammar Schoolです。この学校は、1875年にクイーンズランド州で創立された高等学校から始まりました。現在では20.5ヘクタールの広大な敷地の中に、毎年約900名の生徒が在籍しています。日本語の教育やクラブ活動にも力を入れていることが、特に志木高に相応しい交流校と思われる点です。今年度は英語科の提案により、8月に本校生徒がToowoomba Grammar Schoolを訪問し、9月には先方生徒が志木高に来校する予定です。今後は、生徒の国際的視野を養うため、Toowoomba Grammar Schoolに限らず、海外の学校との交流を少しずつ発展させていければと考えております。

さて、この場をお借りいたしまして、任期満了をもってご退任された鹿野元章前会長に心より御礼申し上げます。鹿野前会長がご在任された2期6年間に様々なことが実現しました。特に、「慶應志木会賞」と「慶應志木会奨学基金」の創設は、志木高生と慶應志木会を強く繋ぐご支援であり、学校長としても心より感謝しております。さらに、鹿野会長の飾らない温かいお人柄は、見習うべき姿として多くの後輩の眼に映りました。ありがとうございました。

末筆ながら、松下賢次新会長を初めとする役員・会員の皆様には、引き続きのご指導、ご鞭撻、ご支援をお願い申し上げ、慶應志木会の更なる発展をお祈りいたします。

志木高教職員の動向

退職　専任　三條　彰久 君（選択定年：社会科　S49.4 ～ H24.3）
非常勤講師　5名　嘱託職員(含)　3名

新任　専任　1名　非常勤講師　5名　嘱託職員(含)　3名

訃報

鐵野　善資 君	第13代元校長	H24年3月19日	逝去
三田　　熙 君	元国語科教諭	H24年4月30日	逝去
宮下　啓三 君	第12代元校長	H24年5月6日	逝去

※ご冥福をお祈り申し上げます

退任のご挨拶

慶應志木会 前会長　鹿野 元章

日頃志木会の為にご協力頂き感謝申し上げます。昨年度は未曾有の震災が発生、会員各位にも直接間接に影響を受けられたかと存じます。当会も志木高生が研修旅行でお世話になった南三陸への恩返し義援金に少しですが協力させて頂きました。そのような中で志木会として当初の事業計画を滞りなく終了することが出来ましたことは、会員各位はもとより役員の皆様のお骨折りの賜物と御礼申し上げます。

本年は三年ごとの役員改選期にあたり小生は退任させていただくことを先日の幹事総会で了承頂き、後任には21期の松下賢次さんがご就任下さいました。氏はTBSアナウンス部長を務められ、現在同社関連会社で取締役の重責を果たしておられます。見識、知名度ともに高く、志木会同期の皆様よりの信任も厚いとのことです。

同時に役員各位にはご苦労様ですがご留任いただき引き続き新会長を支えていただくことになりました。何卒ご高承の上今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

慶應義塾志木高校は下村校長の自由と独立の精神を重んじる教育方針のもとで、学業はもとよりスポーツや文化芸術活動においても全国的に認められる成果を数多くあげていることはOBとしましても誇らしくご同慶の至りと存じます。今後とも一層のご発展を心より願う次第です。

末筆ながら小生の会長在任中賜りましたご厚情に対し、改めて御礼申し上げますと共に会員各位のご健勝を祈念致し退任のご挨拶とさせていただきます。

◉慶應志木会役員の改選について

平成24年5月18日に浜松町にて行われた幹事総会に於いて、本会役員の改選が行われました。会長には21期の松下賢次君が選出され、他の役員諸君は留任となりました。今回の改選による任期は３年です。役員の詳細は本誌末尾の役員／幹事一覧を御覧下さい。

志木高・志木会行事日程

	慶應志木会		志木高等学校
	24 年度予定	23年度実績	24年度予定
4月		4/23　枇杷の会 （７月に延期）	4/6　入学式 4/19　定期健康診断
5月	5/18　幹事総会 *5/19　志木高自然観察会 （14:00～16:00） 5/26　枇杷の会 日暮里～谷中界隈	5/14　志木高自然観察会 5/16　幹事総会	5/1･2　クラスマッチ 5/14～16　1年総合学習研修旅行
6月	6/2　５高JKカップ 6/13　５高合同懇親会 会報発行		6/19～23　第１回　定期試験
7月		7/2　枇杷の会 (小石川植物園) 7/15　会報発行 7/23　５高JKカップ	7/20　第112回志木演説会 7/24～　夏季休業
8月			
9月	*9/15　志木高自然観察会 （14:00～16:00） 9/15　枇杷の会	9/17　志木高自然観察会	～9/5　夏季休業 運動会
10月	10/27　ホームカミングデー （収穫祭:12期&37期）	10/15　枇杷の会 （昭和記念公園） 10/29　ホームカミングデー （収穫祭:11期&36期）	10/8～12　３年見学旅行 10/9～12　２年研修旅行 10/27･28　収穫祭
11月	11/17　テニス大会 13:30～（志木高）	11/12　テニス大会 （志木高）	学校説明会 11/19～24　第2回　定期試験
12月			マラソン大会 12/20　第113回志木演説会 12/21～　冬季休業
1月	枇杷の会	1/29　枇杷の会 （上野公園界隈）	～1/9　冬季休業 自己推薦入試 1/15～19　第3回 定期試験（3年）
2月	幹事新年会	2/24　幹事新年会	一般･帰国入試 2/22～27　第3回　定期試験 （1･2年）
3月	3/24　卒業式 卒業40年（23期）	3/24　卒業式 卒業40年（22期）	3/24　卒業式

＊志木高校内自然観察会は宮橋教諭（理科）を中心に近隣者を対象に開催されます
（卒業生10名様受付）　　注）　H24年度より14:00～16:00の開催となります

「慶應志木会賞」について

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年３月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の３部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定いたします。

本年度で６回目を迎える今回は、器楽部、ワグネル・ソサエティー男声合唱団、硬式野球部、弓術部の４グループと４名の生徒を表彰いたしました。

１．器楽部　３年生15名（２年連続）

- 「第52回埼玉県吹奏楽コンクール県大会・高等学校Ｂの部」　金賞受賞
- 「第17回西関東吹奏楽コンクール・高等学校Ｂの部」　金賞受賞
- 「第11回東日本学校吹奏楽大会」　銀賞受賞

２．ワグネル・ソサエティー男声合唱団　３年生９名（３年連続）

- 第54回埼玉県合唱コンクール（埼玉県合唱連盟　朝日新聞社主催）　金賞受賞
- 第66回関東合唱コンクール（関東合唱連盟　朝日新聞社主催）　金賞受賞
  埼玉　神奈川　千葉　群馬　栃木　茨城　山梨　新潟　静岡　の代表24校が出場
- 第64回全日本合唱コンクール全国大会（全日本合唱連盟　朝日新聞社主催）銅賞受賞
  北海道　東北　関東　東京　中部　中国　四国　九州　の代表21校が出場
- 本年度塾長賞を受賞

３．弓術部　３年生16名

- 平成22年　埼玉県弓道新人大会　団体戦優勝（県大会初優勝）
  東日本大会　決勝トーナメント進出
  埼玉県弓道連盟西部支部大会団体・個人とも優勝
- 平成23年　関東大会埼玉県予選出場
  関東大会出場　団体戦決勝トーナメント進出
  個人の部で3年　鈴木大悟君が準優勝
  全早慶高等学校弓道大会優勝
  ６人立95中　慶應義塾志木高等学校弓術部歴代最高的中を記録
  ３年　鈴木大悟君が埼玉県弓道連盟平成23年度優秀選手で表彰

４．硬式野球部　３年生21名

平成21年度（２年生時）秋季埼玉県高等学校野球大会にて準々決勝（ベスト８）に42年ぶりに進出。また「第83回選抜高校野球大会21世紀枠　埼玉県推薦校」に選出された。惜しくも全国大会への出場はならなかったが、日頃の文武両道にわたる活動の成果を評価された。

５．小野寺駿君、中村元哉君

小野寺駿君は平成22年に、中村元哉君は平成23年に、東洋大学主催の「現代学生百人一首」に応募し、数多くの応募作品の中から百首に選出された。

応募作品：小野寺駿君「ふと感じる　自分の中に　ひそむ悪　夕日の下に　伸びる黒い影」
入選とあわせ「秀逸作品」にも選出された。
中村元哉君「旅終わり　疲れて眠る　君の顔　これも一つの　隠れた絶景」

６．白幡尚生君、杉本祐大君

日本証券業協会主催の「株式学習ゲームに関する感想文コンクール」に応募し、応募総数484名の中から、白幡尚生君は優秀賞、杉本祐大君は奨励賞を受賞した。

なお、表彰されたのは最優秀賞１名、優秀賞２名、奨励賞２名。　以上

體育會NOW 第12回

卓球部　部長　樋口　聡

卓球部は学年に数名から10人ほど、三学年合わせると20人程度の生徒が、体育館2階に卓球台を広げ日々練習に励んでいます。各人の卓球のレベルは初心者から県大会出場者までさまざまです。運動部ではありますが中には「運動が苦手だけれど、高校に入ったら運動部に入ってみよう」ということで入部する生徒も少なからずおります。したがって卓球のレベルだけでなく、運動能力にも大きな差がある集まりです。……例えば腕立て伏せができない、二重跳びができない、など。（もちろん毎日やればできるようになります。）

こういうわけで練習は、項目こそキャプテンが指示を出しますが、実際には個人差が相当ありますから、細かいところは各生徒が自分のレベルでできることを考えて、練習に取り組むように指導しています。そうは言っても1年生のうちはなかなかどうしてよいかわからないものですが、3年生にもなると「試合でこういうことがしたいから、今この練習をしている」という自覚を持って練習できるようになりますし、それができる生徒がやはり試合でも結果を残しています。

ここ数年は団体戦で県大会に出場することを目指しています。シングルスでは個人能力が物をいいますが、団体戦では選手たち（＋私）の作戦で何とか県大会出場の権利をもぎ取れると考えています。それには自分の練習だけでなく、相手をよく観察することが大切です。相手を観察すれば自分がどういう練習をするのがよいか自ずと見えてきます。

結果、平成23年の春は2年ぶりに団体戦で地区大会を突破し、県大会に出場（シングルスは不出場）でき1回戦を勝つことができました（県ベスト32）。24年の春はあと一歩及ばず、地区大会敗戦となってしまい悔しい思いをしました。

文化部会NOW 第12回

新聞部　部長　速水　淳子

新聞部は1957（昭和32）年の第1号から55年、伝統ある「志木高新聞」を受け継ぐクラブだ。文芸部がなくなった現在では、ここがおそらく生徒たちの自主的な文章表現の唯一の場である。ここ数年は収穫祭で小説集も発行している。2012年5月現在部員は3名、新入部員は未だゼロだ。だが文章を書きたい、自分の文章を読んでほしいという生徒がいるかぎり新聞は発行される。

新聞には学校の歴史を記録するという側面もある。学校史の編纂の際大いに頼りにされた資料の一つが志木高新聞だった。開設五十年記念誌「志木高五十年」には第1号と15年分の志木高新聞が転載されている。志木高新聞は「志木高生の今」を記録する大切な手段だ。新聞が発行されなければ志木高の歴史が途切れてしまうことにもなりかねない。

昨年は『新一年生入学』、『新任原先生の素顔』、『鴨池のすすめ』、『水俣病カナダにも』、『志木高生東北に行く』の5タイトルの新聞を発行した。2011年という年は3月11日の大震災によって記憶されるだろう。『志木高生東北に行く』は大震災後の東北に足を踏み入れた生徒たちからの報告だ。二年生の理科研修が南三陸町や気仙沼で行われていたこともあり、生徒たちの関心は非常に高かった。『水俣病カナダにも』は三年の見学旅行で水俣を訪れることになっていたので、事前学習も兼ねてカナダ水俣病の講演会に取材したもの。カナダ水俣病の被害者に対し新聞部員が果敢に質問し、後にその応答が一般紙の記事になっていたのを見つけた時は嬉しかった。

■お願い■

「収穫祭の歌」（吉田進作曲）初演の楽譜を探しています。1965年の収穫祭で初演されました。吹奏楽版、マンドリン版、合唱版いずれかの楽譜をお持ちの方、国語科　速水淳子（hayami@shiki.keio.ac.jp）までご連絡ください。（マンドリンのパート譜を探してくださった皆様ありがとうございました。）

クラブ戦績

クラブ	戦　績
體育會	
硬式野球部	志木会賞 H23夏選手県大会 1回戦 3-4八潮南 新人大会 1回戦 9-2岩槻商業 ブロック決勝 6-4西武台 秋季地区予選 代表決定戦 14-0浦和商業 県大会 1回戦 1-4所沢北 H24春季地区予選 代表決定戦 2-0浦和 県大会 1回戦 4-5蓮田松韻
競走部	62回全国高校駅伝競走大会埼玉県大会2時間25分57秒 県25位　79回埼玉県駅伝競走大会 2時間20分19秒 県23位 西部地区新人駅伝競走大会 8位入賞
卓球部	新人大会 男子団体 西部地区大会 2回戦敗退　関東大会兼インターハイ予選 男子団体 西部地区大会 2回戦敗退
蹴球部	新人戦県大会 5位　関東大会予選 3位　関東大会出場 全国大会予選 ベスト4
庭球部	H24関東高校テニス大会埼玉予選(個人)シングルス3回戦 堀江 1回戦 加藤 高橋 梅崎 田島　コンソレ5回戦 高橋 3回戦 深井 2回戦 有江 吉川 ダブルス2回戦 梅崎・田島 1回戦 高橋・有江 関根・深井　H23埼玉県テニス新人大会(個人)シングルス 2回戦 加藤 有江 1回戦 堀江 梅崎 ダブルス 2回戦 樋口・田島 1回戦 堀江・加藤 高橋・梅崎 島村・関根 団体戦 1回戦 対所沢中央 4-1 2回戦 対所沢北 5-0 3回戦 対立教新座 2-3 ベスト16
端艇部	第60回お花見レガッタ 舵手付クオドルプル 2位　第80回慶早レガッタ高校舵手付クオドルプル 3位　インターハイ埼玉県予選 舵手付クオドルプル 4位 ダブルスカルA 3位 H22年度埼玉県高校新人戦 舵手付クオドルプル 優勝 関東進出 シングルスカル 4位 関東進出　第34回 東日本新人選手権競漕大会 ダブルスカル 5位 関東高等学校選抜ボート大会 舵手付クオドルプル 5位 シングルスカル 出場
バレー部	H24新人大会 西部支部大会 対立教新座2-0 対西武文理0-2 県大会 対大宮北2-0 対浦和2-1 対正智深谷0-2 埼玉県ベスト8 H24関東大会埼玉県予選 対大井1-2
ホッケー部	H23東日本ホッケー大会(夏季)出場　山口国体関東ブロック大会 埼玉県代表として2名出場　高校ホッケー新人戦埼玉県大会3位
サッカー部	新人戦 西部支部決勝トーナメント ベスト16 1回戦 8-0狭山青陵 2回戦 2-5武蔵越生　インターハイ西部支部予選 2回戦 6-0東野 代表決定戦 2-3埼玉平成
バスケットボール部	H23夏季西部地区大会 準優勝　秋季新人県予選西部地区 準優勝　県大会出場 2年生 吉敷、武田 1年生 渡邊　西部地区選抜選手 選出 1年生 渡邊 埼玉県選抜選手 選出
弓術部	志木会賞
ゴルフ部	H23関東高等学校ゴルフ選手権大会埼玉県大会出場(個人・団体戦)埼玉県高等学校ゴルフ連盟研修競技会出場 慶早戦出場 関東高等学校ゴルフ選手権秋季大会埼玉県大会出場(個人戦)
剣道部	インターハイ予選(個人)浅見 三回戦敗退 田村 四回戦敗退 第56回五大学付属剣道大会 第6位(10校)　<トーナメント>一回戦 対立教新座高校2-3(負) <順位決定戦>一回戦 対明大中野八王子6-0(勝)二回戦 対法政大二高校1-6(負) 埼玉県私学大会　<予選リーグ>対栄北高校1-1(本数勝)対本庄第一高校0-3(負) <決勝リーグ>対本庄東高校1-1(代表選負け) 浦和高校定期戦 慶應義塾高校との合同チームで抜き勝負 対浦和高校22-17(勝) 慶早高校対抗剣道試合 新人戦 対抗試合3-2(勝) 本　戦 対抗試合7-2(勝) 新人大会西部地区予選 ベスト8 三回戦敗退 一回戦 対所沢北高校1-1(本数勝ち)二回戦 対朝霞高校3-1 (勝)三回戦 対川越東高校0-4(負) 埼玉県剣道大会(個人)浅見 三回戦敗退 田村 四回戦敗退 埼玉県新人大会 二回戦敗退 一回戦 対武蔵越生高校2-1(勝)二回戦 対春日部東高校1-2(負) 西部支部大会(団体)ベスト8 三回戦敗退 一回戦 対東野 3-0(勝)二回戦 対聖望 2-1(勝)三回戦 対所沢中央 0-3(負) 西部支部大会(個人)浅見 三回戦敗退 敗者復活戦にて関東大会予選(個人)の出場枠に入る 田村 三回戦敗退 敗者復活戦一回戦敗退 木村 三回戦敗退 敗者復活戦二回戦敗退 土屋 二回戦敗退 関東大会予選(個人)浅見 一回戦敗退　関東大会予選(団体)ベスト32 三回戦敗退 一回戦 対上尾南3-1(勝)二回戦 対和光国際 4-0(勝)三回戦 対西武文理 0-4(負)
スキー部	インターハイ県予選 駒井 GS44位 小沢56位 駒井 SL52位 小沢49位 高田 B大回転21位　埼玉県選手権 駒井 SL DF 国体予選 石田 GS43位
ソフトテニス部	埼玉県選手権大会 3ペア 3回戦進出 東京六大学高等学校大会 個人戦ベスト16
水泳部	関東予選200m背泳ぎ クラウス舞恵瑠:28位　100mバタフライ 松本宗一郎:24位 国体予選200mメドレーリレー クラウス・中井・松本・岡安:20位　200mリレー 岡安・クラウス・松本・中井:21位 100mバタフライ 松本宗一郎:19位　200mバタフライ 松本宗一郎:11位 神原コニー:28位 新人大会400mメドレーリレー 小沢・安藤・松本・岡安:28位　200mリレー 岡安・小沢・仲澤・松本:24位　100mバタフライ 松本宗一郎:19位 200mバタフライ 松本宗一郎:15位 西部・東部支部大会50m背泳ぎ 小沢拓也:20位　100mバタフライ 松本宗一郎:20位　200mバタフライ 松本宗一郎:7位　200mリレー 岡安・小林・小沢・松本:27位　200mメドレーリレー 小沢・安藤・松本・岡安:23位
軟式野球部	埼玉県高等学校軟式野球秋季大会　優勝
空手同好会	埼玉県新人戦出場
文化部会	
器楽部	志木会賞
ワグネル・ソサエティー男声合唱団	塾長賞　志木会賞
囲碁将棋部	竹田 和正 全国高総文祭(富山大会)囲碁部門埼玉県代表に決定

――会費納入のお願い――

慶應志木会　会長　松下　賢次

慶應志木会の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、平成20年４月より第５期がスタートし、今後の活動と発展のために会費納入のお願いをしておりますが、平成24年５月末現在、４年間で納入率14パーセントと極めて低調な状況となっております。

志木会費は発足時より５年毎に年会費２千円×５年分＝１万円をお願いしております。

厳しい経済情勢ではありますが、このままでは慶應志木会の運営に大きな支障がでることが予想されますので、何卒ご協力賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

会費未納の方には振込用紙のついた宛名用紙でお送りさせていただいております。この振込用紙をご使用の上、お近くの郵便局または銀行よりご送金下さいますようお願い申し上げます。また、下記の口座を指定いただけば銀行からも振込が出来ます。

なお、すでに納入いただいている方には振込用紙は付いておりません。

記

振込金額　10,000円（平成20年～24年の５年分）

取扱機関　郵便局（同封の振込用紙を使用した場合）

口座記号・番号　東京　00170-6-537748

口座名義　慶應志木会（ケイオウシキカイ）

銀行から振り込む場合

銀行名　ゆうちょ銀行　支店名　〇一九支店

口座種別　当座　口座番号　0537748

口座名義　慶應志木会（ケイオウシキカイ）

払込期日　早期振込にご協力下さい

＜問合せ先＞　志木会事務局　TEL048-471-1959（志木高内）

E-mail　info@keio-shikikai.jp

同期会 &OB会だより

2期 「あぼっけ」

4月に入って間もなくの或る日。新聞を見ているとコラム欄の里山の春「木葉下」と云う字が目についた。この「　」中の字は何と読むか判りますか。茨城県水戸市の北西端の町名で「あぼっけ」と読みます。

去る35～6年前、水戸支店勤務を命ぜられ転勤しました。女子社員に欠員が生じたので募集して面接を行った際に応募者の履歴書に水戸市木葉下○○番地　氏名がありましたのでその時の模様を思い出しました。

当時は地名の知識にも乏しいので、当然「このはした」○○番地と声にして読みましたときに、面接の彼女から、次の様な説明があったのを鮮明に思い出しました。

「このはした」ではなく「あぼっけ」と読み、アイヌ語で「がけ下」を意味する言葉だと教えられました。

茨城県は日立製作所の本拠地で日立工場をはじめとして水戸、土浦、勝田等、地名の附いた工場が軒を並べて存在し、主力の取引先として営業活動を展開していました。とりわけ地方に出ては、土地に関する知識は大切で、人との交流には不可欠でした。

気候も良くなり、散策には持ってこいの季節になったので、水戸の「あぼっけ」と偕楽園へでもいこうかなぁ～

2期　河邊勝利

11期 「遊志会」

11期「遊志会」は、平成23年度も①第2回鎌倉散策の会（6月3日）、②第80回ゴルフコンペ（6月10日）、③ホームカミングデー（10月29日）、④第81回ゴルフコンペ（11月14日）、⑤第6回ミュージックフェスティバル（本年3月4日）、⑥平成23年度総会（本年4月12日）の各イベントを開催しました。特に、平成23年は当11期が卒業後50周年という記念の年に当たることから、遊志会では志木会主催のホームカミングデーにおいて奨学基金10万円を寄付するとともに、当会主催の懇親会も開催しました。当日は在学当時の写真等を肴に大いに盛り上がり、昔話に花を咲かせました。

平成23年度も新幹事のもと、ゴルフコンペ、ミュージックフェスティバル等の恒例イベントに加え、趣向を凝らしたイベントを開催し、会員相互の親睦をさらに深めていきたいと思います。

11期　馬渕祥宏

総会の様子

13期 同期会便り

13期は20数年前から同期会を毎月開催している。節目となった還暦記念には伊豆大仁の塾月ヶ瀬リハビリセンターの見学旅行を、一昨年には65歳記念としてドイツ・フランスに在住している仲間を訪ねる旅を実施した。ドイツでホストとして歓待してくれた後藤昌三君に当時を振り返って頂いた。

『今年も在住先のデュッセルドルフにイースターの休みと共にSpargel（ホワイトアスパラ）の季節がやってきました。Spargelはドイツ人には春の到来を告げる旬の野菜です。このSpargelを楽しむ度に平成22年6月16日の拙宅での四木会Dream Tourを迎えてのパーティーを思い出します。よく日本に行き四木会に参加していたら、会でDream Tourをやろうと言う話が持ち上がりあっという間に現実となり多士済々12名がフランスの岩名さん宅経由で訪ねて来てくれました。団長さんは高校で仲の良かった吉田鋼一郎君。パーティーで開宴の辞

を語ってくれた時の表情が素晴らしかった。はるばる12名もの友人が訪ねて来てくれるなんて嬉しいし名誉な事で、今でも機会がある度に自慢話として話しています。もちろん家族も小生が半年前からワイワイ言うから力が入って一家全員が集合アテンドしてくれました。それから早くも二年近く経ちました。今年の初めに団長の吉田君の訃報が届き言葉を失いました。私はつくづく思います、22年にDream Tourを実行して良かったなと、そして吉田団長は我々に素敵な思い出を残して逝ってくれたなと。吉田君、アスパラに白ワインで乾杯！』

来年は卒業50年を迎えます。3年後には70歳を通過します。思い出創りを考えていきたい。

13期　後藤昌三／千葉宗雄

後藤宅前での集合写真

15期　第33回亦楽会（15期同期会）

平成23年11月18日（金）に15期生の同期会である「亦楽会」が、想いで多き三田キャンパス内のファカルティークラブで開催されました。昭和40年3月の卒業時より数えて46年半という長い時間を経過していますが、誰もが会場に足を踏み入れた瞬間に志木での高校時代にタイムスリップ、即座に「なになに君」で呼び合うやり取りが始まりました。

ひとしきり参加者の青春時代の思い出談話が落ち着いた頃、英語を教えていただいた斉藤顕元教諭より、往時の思い出をお話しいただきました。

そして会場のひな壇に高座がしつらえられ、本日のメインエベントである若手落語家の金原亭小駒師匠から艶話を披露してもらいました。やはり高齢者（我々？）が観客ということもあり爆笑ものより、クスクス笑いのネタで楽しませてもらいました。うまく落すものですね。さすがプロの芸でした。

最後はいつもの定番である全員肩を組んでの応援歌の斉唱、「若き血」、「踊る太陽」「三色旗の下に」を思い切り歌い切って大興奮の中、閉会となりました。亦楽会も今回で33回目、15期同期の絶大なる支持と協力により33年前に開催されて以来一度も途切れることなく毎年開催されております。

今回はご都合があり出席いただけなかった方も、来年は是非ご参加いただけますようお願いいたします。

15期　鈴木幸一

懐かしい卒業アルバムの写真を
http://www.keio-shikikai.jp/15ki/　にアップしました。

16期　志世会

「志世会」（16期同期会）定例総会が9月10日（土）に東京一橋の「喜山倶楽部」で開催され、30余名の同期生が和やかに旧交を温めました。仲間の年齢も65歳前後と年金世代が増え、出席者構成も変わり始めました。東京に居ながら多忙の為出席できなかった友、地方勤務で退職し東京に戻った同期など、これまで会えなかった人々の参加が増えてきております。総会での各自の挨拶も時間的余裕を得て、これからは昔の仲間との関係復活に臨みたいと述べる方が多かった様です。来年の再会を約して散会後、有志10余名は神保町の名門喫茶店「さぼうる」での二次会へ移り、角ハイボールでの乾杯で更

に盛り上がりました。（志世会開催日は9月第2土曜日に固定されており、本年は9月8日です。皆様年間予定表に記入願います。）

毎月第4木曜日に開催される「月例志世会」（「万世本店」地下1階「呉越同舟」で開催の議事無しの飲み会。18時～20時）は、おかげ様で固定メンバーも増え、8～15名程度の出席者があり行事としてすっかり定着しました。最近では日程に合わせて海外・地方から出張し参加する友もおり、毎回期待と驚きに満ちた会合となっております。予約不要、飛入り参加大歓迎ですので、気軽に会社・出先から寄り道をして飲みにお越しください。

第7回志世会ゴルフコンペは3月24日（土）にアスレチックゴルフ倶楽部にて15名参加で開催され昨秋に続き松谷洋君が優勝しました。当日は天気予報を信じて春の装いで臨んだ同期を裏切る冷風雨となり、皆スコアに異常を生じた（?）と聞いております。尚、今秋の第8回コンペは9月26日（水）です。こちらも予定表に記入して下さい。

同期諸氏、今年もそれぞれの行事でお互い元気な顔を見せようではありませんか。

16期　野口信一

20期 同期会報告

多くの人が還暦を迎えた昨年11月5日～6日に静岡県焼津で同期会を開催し、28名が参加しました。昼食会組は同期の安田君の静岡のそばの名店「安田屋本店」で安田君の作る料理を肴に盛り上がり、しめに安田君の打った十割そばを堪能し宿へ移動し、ゴルフ組と合流しました。夜の宴会は宿の自慢のマグロ料理を味わいながら昔話や近況報告でさらに盛り上がりました。今年の2月15日には毎年恒例の同期会を六本木で開催しました。30名が出席し楽しいひと時を過ごしました。つくば市長の市原健一君の近況報告や公認会計士の高木勇三君の叙勲で皇居へ行った話などがあり、大いに盛り上がっておりました。

20期　金子博志

28期 同期会報告

昨年、一昨年に引き続き、幹事 伊能重雄氏のご尽力により、H24年5月24日19：00～銀座BRBにて28期同期会が開催されました。

当日は28名の出席で盛会となり、楽しいひとときでした。今回、ご出席頂いた方々、また、残念ながらお会いできなかった方々も、次回の同期会でお会いできます事を楽しみにしております。

現在28期のメーリングリストには100名程の登録を頂いておりますが、今後のイベントのお知らせ

の為にも是非 info@keio-shikikai.jp 気付 28 期大舘宛まで、メールアドレスをお知らせください。

同期の方の消息、情報をご存じの方、また、皆様の近況報告等もお寄せ下さい。

28 期　大舘　信

……

29期 同期会便り

29 期の同期会はまだ実現されておりませんが、4 年前の慶應卒業 25 周年記念式典の際に久しぶりで再会した者たちで、同期会をやろうという話になりました。当初のメンバーは相田君、菅野君、清重君で始まり、まずは名簿を作ろうということになり可能な限り呼びかけて情報を集めました。（同期のお葬式の連絡などには利用させていただいております）その後は打合せと称して年に 1 ～ 2 回飲み会を行い、メンバーも鳥羽君・内山君・田村君・西君・平沢君・丸山君と少しづつ増えてきて、昔や今のことなどを楽しく話しておりますが、まだまだ事前打合せの人数の枠を越えておりません。まだ同期会報告ができる状況ではありませんが、6 月 13 日の五高合同懇親会でも利用して一気に同窓会レベルにまで発展させたいと願っていますのでたくさんの参加をお待ちしております。

29 期　大熊伸治

……

30期 同期会便り

30 期幹事の岸田でございます。30 期では 3 年前から毎年 11 月第一日曜日に同期会を開催しております。

1 回目　平成 21 年 11 月 1 日　渋谷
2 回目　平成 22 年 11 月 7 日　池袋
3 回目　平成 23 年 11 月 6 日　志木

昨年は志木高内を散策したのちに志木駅近くの居酒屋で 11 名が集まりました。志木高を訪問してきた後だったことから高校時代の懐かしい思い出がより鮮明になり、楽しい会となりました。特に正門をくぐってスロープをのぼったところの掲示板では身に覚えのあるメンバーが「あれ！停学の張り出しがないぞ！」といってはしゃいでいました。

今年の 1 月 29 日にはゴルフコンペも開催しました。大阪から駆け付けた中西太一君やご夫婦で参加された立松君など皆初めて一緒に回るとは思えないほど和気あいあいと楽しい 1 日が過ごせました。

残念なお知らせもあります。坂田浩一君がさる 3 月 24 日病死されました。50 歳でした。合掌

今年の同期会は 11 月 4 日に開催します。場所時間は未定です。詳しくは岸田までご一報をお願いします。

30 期　岸田一男

※編輯部註：志木会事務局経由でご連絡可能です。

……

35期 同期会便り

35 期では 5 年前から年に 1 回の忘年会を継続しています。昨年は 12 月 3 日土曜日に 36 期の天野君が営む銀座長寿庵で 25 名が集まり、旧交を温めました。志木高に入学してから 30 年近く経ちますので姿形の面影ある人から別人のようになってしまった人まで色々ですが、皆各界の前線で元気に頑張っています。同期の連絡先も個人情報の取り扱い難しい中ですが、流行の Facebook 等も利用しながら約半数程度と連絡がつくようになりました。今年もまた行いますので、沢山の同期の参加をお待ちしています。35 期の HP もありますのでそちらもご活用ください。

http://homepage2.nifty.com/yas41/shiki35/index.html

35 期　宇野　宏

鉄道研究会

今でこそ、『乗り鉄』『撮り鉄』『音鉄』『模型鉄』…と日の目を浴びている鉄道研究会（そうでもないか）ですが、平成2年（1990）年当時は鉄道研究会といえば「オタク」的なイメージがあったことは否めない事実です。かくいう私も鉄道にはあまり興味がなかったのですが、顧問の篠田先生の「鉄道に乗って旅行するのもりっぱな鉄道研究だよ」というお誘いの言葉によってキャプテンを引き受けました。その期の漢文は『9』でした。そんなわけで主なクラブ活動は『期末テスト後に温泉に向かう』というもので、現地で合流する篠田先生（先生は新幹線に乗れる）は宿が温泉でさえあれば漢文は『9』でした。爾来、幾星霜。いまだに「慶應義塾志木高等学校鉄道研究会OB会」の看板を掲げ、篠田顧問と年に1回温泉活動と中華宴会を行っています。そして平成23年5月21日（土）、わが鉄道研究OB会は横浜中華街『一楽』にて『篠田先生の傘寿を祝う会』を行いました。41期、42期を中心に集まった10名の会員の鯨飲馬食はいまだ現役、篠田先生もますます意気軒昂でした。当会はOB会からの入会もOKという特殊な会です。皆様も年に1回は篠田顧問の「はいシタッ！」を聞いて温泉に入ってビールを飲んでみませんか？皆様の入会をお待ちしております。

41期　三田貴良

※編輯部註：本会報では、慶應義塾の伝統により教諭の敬称として先生を用いておりませんが、本項目では掲載者の意向によりこれの対象外としております。予めご了承下さい。

慶應志木高校サッカー部創部50周年記念総会＆祝賀会開催のご報告

昨年12月11日（日）に「慶應志木高校サッカー部設立50周年記念総会＆祝賀会」を赤坂のトスラブ山王健保会館「木都里亭」でOB会員、来賓、現役、ゲスト総勢100名を超える皆様に参加いただき盛大に開催いたしました。開催に先立ち、記念総会を行い、議事も無事進行し、長年OB会会長として「野火止サッカー倶楽部」にご尽力いただきました高木会長（S39卒）より、新田新会長（S43卒）へバトンが引き継がれました。執行部も一新して新田新会長のもとで、現役の支援体制をさらに強化できるシフトとなりました。総会では、慶應志木高校サッカー部の半世紀に及ぶ活動を懐かしさをこめて振り返るとともに、今後も現役・保護者・OBが三位一体となり、慶應志木高校サッカー部の更なる発展に努めることを確認いたしました。

当日は長年サッカー部をご指導いただいた渡部元教諭を始め、後藤元教諭、現副部長の宮橋教諭を来賓としてお迎えし、多くのOBの皆様と旧交を温めました。祝賀会はOBでTBS元スポーツアナウンサーの松下賢次君の絶妙な司会と、特別ゲストとしてご参加いただきました「なでしこジャパン」の山郷選手・矢野選手との交流（記念写真の撮影・記念グッズへのサイン等々）により、笑いの絶えないとても楽しい懇親の場となり、予定の2時間30分はあっという間に過ぎてしまいました。最後に宮橋教諭より現役選手諸君の紹介があり、全員で「若き血」の斉唱をもって楽しい宴の幕を閉じお開きとなりました。

21期　折登泰樹

渡部元教諭と22期OB諸兄

ホッケー部

吾ら志木高校ホッケー部は今は去ること 52 年前、昭和 35（1960）年創部であります。一昨年、平成 22 年には、めでたく 50 周年記念総会を諸先輩・現役そして多くの来賓の方々と祝う事が出来ました。誠にありがとうございました。

共に学びし志木高校でホッケーを愛し親しんだ仲間の絆は強く、毎年秋、総会を催し、現役を励まし、また旧交を温め、僅かではありますが寄付を募り、役立てんとする総会も昨年 8 回目を終えました。会員は卒業生 320 名、現役 20 名、併せて 340 名にまで成長いたし、毎年の総会は記憶に残る素晴らしい会となっているは嬉しい限りであります。

現在、埼玉県下で志木高校ホッケー部は飯能南高校、皆野高校と三校で県代表を争うまでに力が付いてきております、もうひと頑張り、ガンバレ！であります。

第 8 回 OB 会総会報告

平成 23 年 12 月 4 日（日）昨年と同じ日本橋のイタリアンレストランにて、斎藤元教諭、石島教諭（現部長、化学）をお迎えして、OB29 名、大学生 8 名、高校生 26 名、ご招待含め総勢 66 名で和気あいあいの雰囲気の中、集まりました。幹事役の諸先輩方、ありがとうございました。毎回、教諭のみならず、学生も招待いただきありがとうございます。料理も美味しく高校生には大好評でした。スピーチの機会もいただき、数名に話させましたが、上手に話しましたので、成長の早さに驚き、また、嬉しくなりました。今回も会計からホッケー部への援助をいただきまして、ありがとうございます。皆様の浄財は大切に強化資金として、使用させていただきます。ありがとうございました。

最後に部歌「城南の丘べ」を声高らかに斉唱、散会となりました。

29 期　菅野芳哉

第 8 回ホッケー部総会の様子

バスケットボール部

野火止会員の皆様

先般の幹事会におきまして、今秋、バスケットボール部創部 50 周年記念パーティを開催することが決まりました。

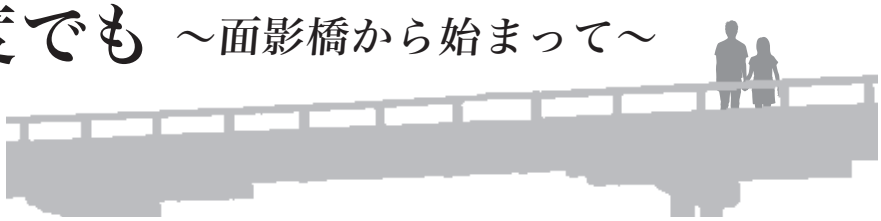
早速、会場・日程を予め押えに動き、以下のとおりとしております。

○日時：平成 24 年 11 月 30 日（金）
　　18 時 30 分開宴予定
○場所：ANA インターコンチネンタルホテル東京

取り急ぎ日時のご連絡まで。

32 期　棚橋慶太

いつも・何度でも ～面影橋から始まって～



三條　彰久（元社会科教諭）

志木会の皆さんや多くの方々に支えられ今春志木高を「卒業」致しました。

38年の教員生活を曲がり形にも何とか過ごせましたことを感謝します。1974年に着任しましたので26期？の方が2年生時に世界史を担当したのが始まりでした。その頃都電荒川線面影橋辺り神田川の川音が聴こえるアパートに住み、その後東上線下板橋に引越し伴侶を得ましたが、マンドリンクラブ部長を引き受けたのも同じ頃でした。今の住まい飯田橋というより神楽坂に転居した1980年3月24日、長女が生れました。この日は今も志木高の卒業式なので忘れられぬ一日です。

思えば「橋」の付いた地名駅名が私の人生の折目節目に関わってきたように思われます。ここ数年3年生の選択課目の授業「近現代建築史」の一環で校外見学を行いました。かつて校内を流れていた野火止用水、寄宿舎跡の慶應志木の森や志木の鎮守敷島神社境内の田子山富士、新河岸川と柳瀬川の合流するいろは橋などを廻るツアーです。橋は人や物を渡す存在である以上に、思い出や心を繋いでくれるものかと思います。橋渡しといいますか、志木高は私と皆さんを永遠に結び繋いでくれる「橋」だったのだと思う今日此頃です。

標題に掲げたのは「千と千尋の神隠し」の主題曲で大好きなもので何時も口遊んでおりますが、私にとっても志木高は「いつも・何度でも」なのです。

「志木会奨学金」の募集は続きます

会員各位のご協力によりスタートいたしました「慶應志木会奨学基金」が平成21年秋から生徒への給費を開始いたしました。ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

しかしながら、現在の基金額は運用益を確保し、安定した給費を継続できる十分な額とは言えません。長期的に安定した給費の継続と給費対象者・給費額の拡大を図るために、志木会では寄付金の募集を継続しておりますので、是非ともご協力を賜わりたく、心からお願い申し上げます。

なお、「慶應志木会奨学基金」に使途を指定した寄付となるため、使途指定をした寄付申込書が必要になります。寄付に対する減免措置については従前どおり慶應義塾基金室から領収書並びに所得税、法人税の寄付金控除証明書が送付されます。

【募金要綱】

慶應志木会奨学基金

1. 募金単位　　**1口 一万円**
2. 払込方法　　従来の口座振り込みから塾の基金室へ変更になりました。
詳細は慶應志木会事務局までご連絡下さい。
TEL 048-471-1959　E-mail info@keio-shikikai.jp

収穫祭のお知らせ

生徒会　収穫祭実行委員長　黒澤　綾太

みなさん、こんにちは！　平成24年度収穫祭実行委員長の黒澤綾太と申します。

収穫祭実行委員会は、4月から本腰を入れて活動を開始しています。そこで、まずテーマ決めを行いました。その結果、今年のテーマは「sfz（スフォルツァンド）」となりました。

sfzは音楽記号で、ある音にかなり強いアクセントを加える意味があります。また、私達実行委員は、共通して「収穫祭を支える」という意志を持っています。そこで“supreme future zygote”という言葉をsfzに当てはめました。意味は「最高の未来の接合子」です。つまり、今までで一番力強く、インパクトがあり、また、私達の代が、収穫祭の新しい未来への接合子に成るような素晴らしいものになってほしいという願いが込められています。 また、収穫祭はたくさんの人々の支えにより、成り立っていることを忘れないようにしたいと思っています。OBの皆さまが、これまでの伝統を築きあげてこられたこと、教諭方の協力、来場者の方々の支持などがあるからこそ、こうして、私達の代の収穫祭が行えるのです。今まで、OBの方々が代々築いてこられた収穫祭の伝統を守りつつ、また、「収穫祭」を行える環境に感謝して、志木高生「全員」で、今年度の志木高生らしい収穫祭を作っていきたいと思っています。 最高のメンバーとともに、志木高生の最大のイベントともいえる収穫祭が成功するよう、全力で努力してまいりますので、今年も、何卒、応援をよろしくお願いいたします。

本年の収穫祭は、10月27日（土）・28日（日）に開催されます。

詳しくは志木高等学校のウェブサイトか、志木会メールマガジンを御覧下さい。

12期/37期ホームカミングデーのお知らせ

今回で7回目を迎えますが、収穫祭の一日目に卒業25周年および卒業50周年の方々をお迎えして、合同ホームカミングデーを開催いたします。

懐かしい教員の方々、志木会会員の皆様との懇親を中心に簡単な立食パーティーを行います。

12期＆37期のみなさまはお誘いあわせの上、奮ってご参加下さい。

日　時：平成24年10月27（土）
場　所：志木高管理棟３階 会議室
会　費：無料
申　込：出席ご希望の方は志木会事務局までご連絡下さい

「卒業後40年記念」の伝統

22期　吉岡　仙弥

卒業後40年記念にあたり、慶應義塾志木高校の平成23年度卒業式にお招きいただき有難うございました。出席いたしました第22期生（昭和47年3月卒業）45名の中で最も遠方（九州）より参りました私が代表して、御礼を述べさせていただきます。

卒業後40年と言いますと、18歳で高校卒業ですから、皆57～58歳の年齢に達しています。人生の節目である「還暦」を間近にしたこの時、今回の卒業式出席は青春時代を顧みる絶好の機会だったと思います。このような時機を得た素晴らしい企画をしていただいた学校関係者に深く感謝をしております。

さて、私が入学しました昭和44年当時の志木高の周辺は武蔵野丘陵の自然が色濃く残る「田舎」でした。東上線志木駅は現在とは比べようもない小さな駅舎で、学校のある東口は駅前に伸びる通りに沿って小さな商店が散在するだけの寂しい町並みでした。今、志木高正門前に林立する、スーパーやマンションがある場所は旧農業高校の跡地で、まだ旧校舎が残るのどかな雰囲気でした。対照的に正門を抜けた先に整然と建つ、前年昭和43年に完成したばかりの新校舎は超近代的で、入学式の時、真新しい校舎で学べる事に気持ちが高揚したのを憶えています。先日、久しぶりに志木高を訪れると、周辺の風景は一変しておりましたが、低く拡がる校舎群は変わらず美しく、野火止め用水のあった森も昔のままの自然が残っており、私は一気に高校時代に引き戻されてしまいました。慶應義塾の自由でおおらかな校風と自然に満ちた環境で高校時代を送り、多くの友人を得た事は代えがたい財産だとつくづく実感しています。また、平成2年に閉鎖された寄宿舎（有隣寮＆高翔寮）で「寮生」として２年間過ごしましたが、今考えると、慶應義塾では志木高だけの斬新な教育システムを経験したわけで、人生に大きく影響したと言っても過言ではありません。同級生と24時間起居を共にした寮生活のなかで育まれた友情、よき先輩、後輩と過ごした数々の時間は人生の宝物です。

先日の卒業式は厳粛な中で進行され、下村裕校長の式辞は卒業生を誇りに思う気持ちにあふれた心温かいものでしたし、また、威厳のある格調高い御話に大変感銘しました。更に、在校生の送辞も卒業生の答辞も素晴らしかった。また、3番まで斉唱した塾歌も久々に自分が塾生の一人であったことを思い出させてくれました。実は、40年前の本来の卒業式は欠席したため、今回が初めての志木高卒業式となり感激もひとしおでした。そんな雰囲気の中での、約1クラス分もの人数が集まった40歳年上の第22期生OB達のはしゃぎぶりは、後輩たちの目にはどう映ったのでしょう。卒業式のあと、私達は管理棟3階会議室で、一人ひとりに「卒業40周年記念証」と心のこもった記念品をいただきました。その後、漢文を教えていただいた篠田雅雄元教諭と寮の舎監でもあった体育の後藤邦吉元教諭を囲んでの懇親会で昔話が尽きることはありませんでした。先だって、正門前での集合記念写真が届きましたが、体育館を背景に校長、恩師を中心に、数名のやんちゃな在校生も交えた和やかな記念撮影となっていました。最後まで誠意のある心配りをしていただき、改めて心からの敬意と感謝を示したいと思います。志木高のますますのご発展を祈念しております。

平成23年度　卒業後40年招待　第22期生　慶應義塾志木高等学校　平成24年3月24日

平成23年度慶應志木会 収支報告書（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

単位：円

収入		支出	
適要	金額	摘要	金額
前期繰越金	13,672,932	会報費	2,079,000
		会議費	537,240
維持会費	2,508,000	式典費	30,000
新入会費	1,680,000	交際費	99,975
物販収入	49,100	通信費	28,140
幹事会会費	159,000	手数料	9,640
預金利息	675	事務費	367,988
		パソコン関連費	171,202
		収穫祭寄付	300,000
		卒業式寄付	300,000
		卒業生記念品・志木会賞	593,501
		事業費	163,934
収入小計	4,396,775	支出小計	4,680,620
		次期繰越金	13,389,087
合計	18,069,707	合計	18,069,707

預金残高明細（3月末現在）

単位：円

（銀行）	（種別）	（適用）	（管理）	（残高金額）
りそな	普通	一般	増山	1,101,372
埼玉りそな	普通	入会金	増山	1,433,045
郵便局	振替	会費口	増山	10,483,800
郵便局	振替	名簿代	増山	0
三井住友	普通	小口	金森	186,245
埼玉りそな	普通	小口	竹内	184,625
りそな	普通	寄付	増山	0
合計				13,389,087

監査報告

慶應志木会会則第18条に基づき、平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の会計監査を実施いたしました。

その結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

平成24年4月27日

監事　千葉　宗雄

監事　原田　薫

慶應志木会　役員・幹事・クラブ幹事

■役員■

名誉会長　下村　　裕（校長）
会　　長　松下　賢次（21期）
副 会 長　河野　文彦（主事）
　　増山　治一郎（17期）（会長不在時代行）
　　財務担当
　　金子　博志（20期）　情報管理担当
　　中村　弘司（23期）　事業担当
　　山﨑　嘉正（26期）　総務担当
監　　事　千葉　宗雄（13期）
　　原田　薫（15期）
幹 事 長　阪東　宗文（16期）（会長不在時代行）
事務局長　山﨑　嘉正（26期）

事務局幹事　金子　康雄（22期）　会報担当
　　小川　洋（25期）　事業企画担当
　　山田　純男（26期）　総務担当
　　金森　悟（27期）　財務担当
　　大舘　信（28期）　事務局長補佐
　　相田　英文（29期）　幹事長補佐
　　大澤　宏樹（35期）　企画担当
　　宇野　宏（35期）　総務・会報担当
　　天野　徳雄（36期）　財務担当
　　大久保佐太郎（55期）　総務・会報担当

■顧問■

顧　　問　櫻井　英太郎（１期）　龍野　和久（１期）
　　宮田　勝（５期）　多田　毅（７期）
　　五老　輝彦（９期）　品川　雅貴（12期）
　　本橋　重夫（15期）　鹿野　元章（16期）
　　西村　孝一（17期）

■幹事■

期	幹　事						
1	藤井　淳	松本　仙太郎					
2	遠山　正秀	惣滑谷　岱司	河邉　勝利				
3	品川　仁	岩崎　勝利	菅野　光男				
4	藤岡　民良	高橋　公郎	伊藤　金次郎	三浦　靖夫			
5	寺嶋　延行	小林　石三	藤井　洵				
6	真野　信裕	松本　福太朗	茂木　光義				
7	熊崎　順次郎	鈴木　正治	渡辺　正				
8	青木　宏至	品川　宗弘	大須賀　均	磯部　和宏			
9	南部　達雄	佐々木　弘暢					
10	馬場　紘二	斉藤　彰	細井　延昭	吉川　忠裕			
11	馬渕　祥宏	鴻田　益孝	森原　孝夫	菅谷　正樹			
12	太刀川　俊男	川久保　達也	岡田　幸次郎	原田　雄介			
13	清水　武寿	椎野　開八郎	山本　雄一				
14	小林　好二	築山　正俊					
15	小笠原　準一	倉田　伸二	深瀬　啓司				
16	川端　清治	工藤　親彦	近藤　隆夫	橋本　幸男	野口　信一		
17	荘　敬典	北村　基樹	前嶋　晶廣	野村　真	中村　康二		
18	伊藤　博行	黒田　豊	徳永　良				
19	中西　廣策	星野　恭一郎	村上　功治	三浦　秀男			
20	中　一弥	杉　雅俊					
21	飯島　敏一	福地　敏之	内山　洋一	折登　泰樹	小林　哲男	森　光太郎	
22	櫻井　造雄	三木　哲郎					
23	夏目　雅	梅澤　由起	森田　榮一	三義　英一			
24	赤木　均	島影　幸有	田沼　潔	京本　修			
25	高橋　宣行	島田　徹					
26	船山　剛	小池　雅澄	善木　達明	澤田　尚史	中川　龍士	荻原　弘幸	渡辺　規人
27	鬼頭　真一郎	永井　利宗					
28	大舘　信	望月　一	渕岡　繁				
29	大熊　伸治	鳥羽　克治	清重　利昌				
30	岸田　一男	原田　仁敦	佐藤　正人	新　隆文			
31	荻田　健之	福島　聡	布施　浩之	梶原　靖友	内匠屋　健		

32	町野　素久	横江　資友	梅田　幸彦	鈴木　厚			
33	小玉　裕	河野　潔					
34	大内　正博	山下　孝	古長　玄一郎				
35	須佐美　文忠	昌谷　健司					
36	笛木　儀久						
37	鍋島　康友	永田　博詳	植島　博之				
38	知久　康成	中里　栄基	金子　隆則				
39	丸山　和紀	田中　浩樹					
40	井上　晴生	税所　篤史					
41	柏木　徹	三田　貴良					
42	安　重煥	小島　圭	御山　義明				
43	藪原　一暁	高松　智之					
44	宮田　真詩						
45	若松　洋雄	小山　一	小川　圭				
46	谷口　剛						
47	小寺　俊且	谷　嘉康	森　茂之	西本　祥仁	濱岡　勇介	小林　圭	
48	亀山　雄高	黒川　真行	寺西　富広				
49	石川　快	廣江　安彦					
50	髙岡　功	徳田　征之	小林　敬英	齋藤　収			
51	石井　強太	森川　渉	浅岡　良彦	治田　和明			
52	毛呂　淳一朗	渡邉　慶太郎					
53	森岡　多門	林　憲					
54	塚本　大夢	中川　雅之					
55	池端　俊太	小泉　貴史					
56	大久保　匠馬	若林　隆晃	横澤　慶太				
57	和田　亮	時田　亜希夫					
58	宮山　明	佐藤　友紀					
59	箱﨑　勇人	本多　清礼					
60	岡田　哲哉	中込　健太	工藤　雄太				
61	井上　裕紀	富澤　直嗣					
62	荒木　謙人	岡本　尚之					

■クラブ幹事■

テニス部	田中	真介（17期）	バレー部	進藤	英典（23期）	枇杷の会	湯浅	善衛（31期）
サッカー部	中村	直人（38期）	スキー部	渡辺	一仁（51期）	ワグネル	山浦	元気（61期）
バスケット部	南雲	保秀（23期）	野球部	小川	光二（17期）	ワグネル	南	琳太（61期）
卓球部	浅生	潤（23期）	ホッケー部	菅野	芳哉（29期）			

編　輯　後　記

つい先日23年度の会報を編輯していた気がしたのですが、あっという間に24年度が出てしまいました。月日が経つのは早い物ですね。皆様如何お過ごしでしょうか。

驚くのはそれだけではありません。各期の皆様から原稿が集まる集まる！　写真と文字が小さくなってしまい申し訳ない限りですが、志木会会員の皆様が、如何に活発に、友誼を温めていらっしゃるのかがわかります。

来年度も沢山の原稿が集まることを願ってやみません。

（さたらう）

慶應志木会会報　2012 ● Vol.32

編輯・発行　慶應志木会（慶應義塾志木高等学校同窓会）
〒353-0004　埼玉県志木市本町4-14-1
Tel. 048-471-1959（志木高内）
発行人　松下賢次
発行日　平成24年６月25日
印刷　(株)精興社
ウェブサイト　http://www.keio-shikikai.jp/
電子メール　info@keio-shikikai.jp